

## ◆◆◆ 新会長のご挨拶 ◆◆◆

### 第4代会長 梶川裕史

今回、学友会発足10周年という大きな節目の年に会長に就任しましたことに誇りと責任を感じています。と申しましても会長であるからといって学友会は「こうでなければならぬ」、とか「こうあ



るべきだ」などという強い意志がある訳ではありません。逆に「こうであってはいけない」という NEVER という気持ちもありません。日本語でも英語でもねばねばしたところはなく流れに任せてやっています。私はただ学友会の仲間たちと交流を持つことに喜びを感じており、「学友会に参加すればまた皆と会える」と思いながら活動に携わっているうちにいつの間にか10年が経ち、会長になってしまったというのが本当のところなのです。

私は2001年に1学年度奨学生としてメキシコのグアダハラ自治大学に「グローバルゼーション」を専門として留学しました。受験当初は独身でスペインへの留学を希望していたのですが合格後に結婚し留学先もメキシコに変更、夫婦でメキシコ人のロータリアン宅にホームステイするという貴重な体験をさせていただきました。メキシコで一番学んだことは勉強も勿論ですが、それ以上に世の中や人生には風の流れがあるということです。西洋ではシンクロニシティとかセレンディピティといわれるもの、東洋では外が応ずると書いて「外応」という現象を読み取ることがとても大事だということに気がきました。「自分がこうしたい」、とか「こうなりたい」というのも大切ですが自分への流れがこちらに向いているなと感じたらあまり考えずその方向に向かうことにしています。但し、こんな偉そうなことをいっても確固たる強い意思がある訳ではないのですぐに小さな失敗にくよくよしますし、小心者なのでいつも心は傷心しています。

2510地区の学友会が10年を超えこれから新し

いステージに向かう今、お伝えしたいことはロータリーの奨学生・GSE体験の意義は留学中は勿論のことですが、その醍醐味は留学後、つまり学友会活動にこそあるということです。留学後に学友会活動に参加し交友関係を深めることでその価値は何倍にも膨れ上がります。そしてそんな素晴らしい経験をさせてくださるロータリークラブの全ての関係者に感謝の意を伝えていきたいと思えます。ロータリアンの方々にはときには厳しくときには寛容に私達の活動を見守っていただければと存じます。学友会の皆さん、これからも楽しくやって行きましょう！

## ◆◆◆ 学友会の活動 ◆◆◆

### 「10-11年度活動報告」(10.7月~11.6月)

#### 【主な活動】

- 10/7/3 「10-11 財団国際親善奨学生壮行会」  
KKR 札幌ホテル(学友4名出席)
- 10/7/24 「学友会ニューズレター」編集委員会  
札幌学院大学(学友4名)
- 10/8/20 「学友会ニューズレターvol.9」発行
- 10/9/18 「学友委員会・学友会合同委員会」  
札幌第一ホテル(学友3名出席)
- 10/10/8 「GSE 研修報告」(報告者:鈴木洋史)  
北海道難病センター
- 10/10/9 「学友委員会・学友会合同委員会」  
札幌第一ホテル(学友4名出席)
- 10/10/17 「地区大会」学友会ブース設置  
札幌市民ホール(学友5名参加)
- 10/11/13 「帰国報告会(学友会総会)準備委員会①」  
札幌学院大学社会連携センター  
(学友7名出席)
- 10/11/19 第2510地区HP内「学友会サイト」開設
- 10/12/11 「帰国報告会(学友会総会)準備委員会②」  
札幌学院大学社会連携センター  
(学友8名出席)
- 11/1/29 「帰国報告会(学友会総会)準備委員会③」  
札幌第一ホテル(学友4名出席)
- 11/2/5 「第7回 帰国財団学友報告会・学友会総会」  
札幌第一ホテル(全36名出席)
- 11/3/12 「次年度学友会準備委員会」  
チャンドマ(学友4名出席)
- 11/5/28 「学友会設立10周年記念行事準備委員会」  
札幌学院大学社会連携センター  
(学友8名出席)
- 11/6/11 「米山学友会家族会」  
ガトーキングダム(学友5名参加)

## 【主な学友卓話】

10/7/15	「札幌東 RC」	羽田野真寿美
10/7/31	「札幌手稲 RC」	鈴木洋史
10/8/31	「札幌セントラル RC」	鈴木洋史
10/9/28	「札幌清田 RC」	鈴木抄織
10/11/2	「深川 RC」	鈴木洋史
10/11/5	「小樽南 RC」	羽田野真寿美
10/11/9	「千歳セントラル RC」	佐藤知香子
10/11/18	「滝川 RC」	菅原秀二

## 【卓話報告】

GSE2009-2010 鈴木 洋史

『分かち合いの国を訪れて』

～スウェーデン研修を通して感じたこと～』

本日は札幌セントラルロータリークラブ様の例会で貴重なお時間をいただき、心より感謝申し上げます。現在、私は(財)北海道難病連という難病を抱える患者と家族でつくる団体に所属し、医療・福祉の相談員として働いております。昨年 2010 年4月30日から5月30日までの1ヶ月間、GSE(研究グループ交換)プログラムで、スウェーデンを訪れました。本日は、その研修中に私が見聞きし肌で感じたスウェーデンについてお話したいと考えております。

私たち研修団はスウェーデン第2の都市ヨーテボリを中心に10数か所の高齢者施設や障害者施設を訪れました。高齢者施設は入居タイプで障害者施設は通所タイプが主でした。

訪れた高齢者施設は1人につき1部屋が割り振られておりバス・トイレ・キッチンが備え付けられ、そのほかの家具は自身が使い慣れたものを持ち込むそうです。認知症の方が多い施設ではキッチンのコンロが許可なく使用できないといった他は特に変わりはありませんでした。

さらに私たちは重度障害者施設も訪れました。車いすの方、ストレッチャーに乗った方などが多く通っており、日々、音楽、絵画、工作、ダンスなど多彩なプログラムが組まれていました。通所する人それぞれが取り組みたいものを選択するそうです。

こういった施設を巡っていて思うのは誰でも入居、通所可能なのか、多額の費用が必要なのではないかということでした。この疑問にはヨーテボリの行政職の方が次のような例えを持ち出し答えてくださいま

した。

「例えば、海外に住む富裕層の方が医療・福祉サービスの整ったスウェーデンで老後を過ごしたいと考え、多額の入居料を支払うことを条件に入居の申し込みをされたとします。また一方で、アルコール依存症で身寄りもお金もなく今後の生活に大変困っている方がいるとします。」「スウェーデンでは例えお金をたくさん持っているようがいまいが、今一番支援が必要な方を受け入れるのです。この場合では緊急的に支援が必要とされるアルコール依存の方を受け入れるでしょう。スウェーデンではすべての方は法の下に“平等”なのです。」

さて、日本では高額な治療費・薬剤費を払うような難病の患者さんであってもスウェーデンでは基本的に薬剤費は無料、医療費も10,000円程度の上限額が設定されており、それを超えれば無料となるそうです。日本のような特定の疾患(難病)のみ医療費助成対象になるということはないため、私が日本の制度を紹介したところ、センターのスタッフの方々は大変興味深く聞いていらっしゃいました。

私たちの住む日本に今回紹介したようなスウェーデンモデルが適応するのかどうかは長年賛否両論ありますが、私たち国民が信頼できるような国になるよう傍観者ではなく、主体者として働きかけていくことが必要なのではないかと強く感じました。

長いようで短い一か月の研修、私という一人の目を通して感じた事柄を紹介いたしました。そのため言葉足らずで偏りのある内容になったかもしれません。皆様のご意見をおうかがいできれば幸いです。

ご清聴ありがとうございました。

(2010年8月31日)

札幌セントラルロータリークラブ 例会にて)

## 【活動報告】

上野 智恵美

『米山学友家族会に参加して』

6月11日(土)、ガトーキングダムサッポロにて、米山学友家族会に初めて参加させていただきました。米山学友の方々と一緒にプールや温泉に入ったり、食事をしながらゆっくり語り合い、それぞれの出身国

のお話をお聞きすることもでき、大変有意義な異文化交流となりました。

懇親会の中では、梶川会長から私達財団学友の活動を紹介したり、鈴木洋史さんのGSEでの体験をお話する機会があり、みなさん興味深く耳を傾けていました。鈴木抄織さんの歌声を披露する場面も設けられ、大きな拍手が沸きました。そんな米山学友会のアットホームな雰囲気の中で、とても楽しい時間を過ごすことができました。

また、個人的には、学生時代からの友人である李愛英さんとの再会を果たすこともでき、彼女の活躍を見て刺激を受けました。

米山学友のみなさんとは、これまで、地区大会などでお見かけする事があっても、このようにゆっくりお話したことがなかったので、これを機に、更に交流が深まっていくことを願っています。



## 「11-12 年度活動計画」

- 1) 総会・役員会の開催
  - ① 総会：年1回
  - ② 役員会・例会（随時）
- 2) 学友委員会との連携
- 3) ロータリー活動への参加
  - ① 地区大会への参加  
学友会のブース開設
  - ② 各 RC への卓話活動
  - ③ 各 RC 行事への参加
- 4) 新規奨学生・GSE の支援
  - ① 派遣予定者の支援（アドバイザー）
  - ② オリエンテーションなどの支援
- 5) 対外活動
  - ① 国内外他地区学友との交流等
  - ② 米山学友会との交流
- 6) メーリングリストの充実・活用
  - ① 登録者の拡大
  - ② 遠隔地の学友間の交流に活用
  - ③ 学友の所在確認への活用

- 7) ニュースレターの発行  
年1回発行し、学友や第 2510 地区各ロータリークラブ等へ配布
- 8) 学友名簿の充実
- 9) 学友会設立 10 周年行事の検討・準備

## 11-12 年度 財団学友会役員体制

顧問	斎藤 博史	(財団学友委員長：千歳セントラル RC)
顧問	岡 宏幸	(90GSE:札幌東 RC 推薦:元会長)
顧問	菅原 秀二	(91 奨学生:札幌真駒内 RC 推薦 札幌大通公園 RC:元会長)
顧問	白畑 博信	(90GSE:小樽南 RC 推薦:前会長)
会長	梶川 裕史	(00 奨学生:札幌東 RC 推薦 札幌大通公園 RC)
副会長	鈴木 抄織	(93GSE:札幌東 RC 推薦)
副会長	菅原 桂子	(99 奨学生:江別 RC 推薦)
幹事長	鈴木 洋史	(10GSE:札幌手稲 RC 推薦)
幹事	森田 茂	(90GSE:江別 RC 推薦)
幹事	田邊 元	(91 奨学生:札幌東 RC 推薦)
幹事	渡辺 多会子	(95 奨学生:札幌手稲 RC 推薦)
幹事	吉倉 省吾	(96GSE:札幌 RC 推薦)
幹事	西 真木子	(98 奨学生:札幌 RC 推薦)
幹事	上野 智恵美	(00 奨学生:札幌はまなす RC 推薦)
幹事	笹村 久美子	(04 奨学生:苫小牧北 RC 推薦)
幹事	中内 健太	(06GSE:札幌清田 RC 推薦)
幹事	佐藤 美香	(07GSE:札幌清田 RC 推薦)
幹事	佐藤 知香子	(08 奨学生:札幌はまなす RC 推薦)
幹事	池見 真由	(08 奨学生:札幌大通公園 RC 推薦)
幹事	田中 栄子	(09 奨学生:札幌幌南 RC 推薦)
会計	伊藤 和弘	(98 奨学生:小樽南 RC 推薦)

## 「新幹事挨拶」

池見 真由

こんにちは、池見真由です。私は札幌大通公園 RC がスポンサーとなって頂き、08 年度国際親善奨学生として南アフリカ共和国に留学しました。その間に、現地のホストクラブである Sea Point RC のカウンセラーの紹介で、日本政府機関の契約調査員の仕事を心得、帰国後すぐに戻り、結局ケープタウンで約 1 年半を過ごしました。2 度目の滞在中は元ホストクラブからのお誘いを受け、今度は奨学生としてではなく“期間限定ロータリアン”として同クラブに参加しました。南アフリカはサッカー W 杯開催国でしたが、開催直前の 2010 年 5 月末に泣く泣く帰国しました。後に現地の友人から、「試合がある時もない時も常にブブゼラが鳴り響いていてうるさいわあ！」と聞か

されました(笑)。ロータリーのお陰で出会うことが出来たケープタウンと、そこで出会った人々との沢山の思い出や奉仕活動経験を胸に、今度は日本でお世話になったロータリアンの方々への恩返しという気持ちで、今の自分が出来る限りの仕事を皆さんのためにしていきたいと思えます。

#### 田中 栄子

昨年9月アメリカでの半年間の文化研修から帰国し、ちょうど1年が過ぎたところです。出発前不安を抱いていた頃に、学友会の皆様から温かな励ましの言葉や様々な体験談を聞かせていただき大変心強く感じたことを思い出します。ロータリーの皆様からのご支援はもちろんのこと、学友会の皆様や、多くの方々に支えて頂いたからこそ、無事に留学を終えることができたと感じております。

学友会幹事にとお声を掛けて頂き私に何が出来るのかと迷いましたが、これまでの恩返しのつもりで微力ながらお引き受けさせて頂きました。少しでも学友会活動の発展のためにお役に立てればと思っております。

#### ◆◆◆ RI 2510 地区

#### 「第7回 帰国財団学友報告会」◆◆◆

主催：地区学友委員会・財団学友会

とき：平成23年2月5日(土)

ところ：札幌第一ホテル

出席者：ロータリアン：18名、報告者：3名

学友：15名

#### 『アフリカでの国際親善活動』

08-09 年度 池見真由

(札幌大通公園 RC:南アフリカ:文化研修6ヶ月)



私は、語学文化研修プログラムで南アフリカ共和国に「国際親善奨学生」として派遣されました。南アフリカはご存知の通り、昨年2010年のサッカーW杯開催地であり、一方で「アパルトヘイト」という

痛恨の歴史や、世界有数の「犯罪大国」としても有名であることは否めません。しかし、素晴らしい大自然とアフリカならではの野生動物、民族伝統舞踊など、魅力満載の国でもあります。私の滞在地ケープタウンは、ヨーロッパ感溢れる素敵な街並みと近代的な建物が立ち並び、また私のホストクラブである Sea Point RC では、メンバー全員が白人です。私はこのクラブのロータリアンの皆さんからいつも温かく歓迎され、非常に愛されている!?と感じずにはいませんでした。しかし、私の方も負けじと皆さんのことが大好きで、例会、イベント、食事会、プライベート余暇など、あらゆる招待全てに参加し、日本やスポンサークラブの宣伝(営業)もして廻りました。クラブでは、地元の公園に、子供達や家族が楽しめるようなミニ遊園地を建設・運営したり、タウンシップと呼ばれる貧困黒人居住地区内にある幼稚園に、水やトイレ、防犯フェンスなどの建設支援事業に取り組んでいました。また、地域の障害をもった方々や病院生活の方々を対象に開催されたチャリティーイベントにゲームコーナー出店、その他チャリティー宝くじ大会を主催し、抽選会はゴルフ場とも思える広い芝生に旗を立て、当選番号ボールがハングライダー達の手によって空から降ってくる～！といった個性的演出で、地元の新聞にも大きく取り上げられた程です。これらの貴重な経験と思い出を胸に、今後もアフリカでの国際協力と日本での奉仕活動に積極的に携わって行きたいです。最後に、このような掛け替えのない機会と出会いを与えて下さった、スポンサー札幌大通公園 RC、そして全てのロータリーの皆様方、本当にありがとうございました。



## 『サンタバーバラ冒険記』

08-09 年度 松橋由佳

(札幌モーニング RC:アメリカ:文化研修6ヶ月)



私は2008年10月から2009年4月まで、アメリカのカリフォルニア州にあるサンタバーバラという街で半年間の文化研修をして参りました。

サンタバーバラの人口は約9万2000人で、美しいビーチとワイナリーが有名なリゾート地です。旧スペイン領であり、旧メキシコ領でもあるため、メキシコ系の人々が多く住んでいます。

私のホームステイ先もメキシコ人のご家庭でした。そのため、日常会話は英語ではなくスペイン語がメインで、私と会話するときだけ英語という状態でした。最初はスペイン語なまりの英語がなかなか聞き取れず苦戦しましたが、ご夫妻ともに何とかして伝えよう・理解しようと向き合い、あたたかく迎え入れてくださったのがとても印象に残っています。

滞在中はいろいろな出来事がありました。大規模な山火事が発生し、約1500エーカーが焼失し、死傷者も出ました。Proposition 8 に対する大規模デモも行われました。日本にいる間、同性の結婚に対して特に考えたこともなかった私は、人々が叫びながらデモ行進している姿にはただただ驚くばかりでした。また、オバマ大統領の就任やサンタバーバラ国際映画祭などもあり、アメリカ人が日々関心を持っていることに対して直に接することができ、非常にいい経験になりました。

サンタバーバラには9つのロータリークラブがありました。カウンセラーであるWade Nomura氏のご協力により、全てのクラブを回る事が出来ました。例会では、CALSTAR(救急ヘリ出動民間グループ)、ケニアへの水援助活動、A-T Cure Project(血管拡張性失調症という難病患者を支援するプロジェクト)などに参加されているゲストスピーカーの方々から、直接お話を伺うことが出来ました。「政府が手の届かない範囲に対して、少しでも自分たちの力で何とか

支援できないだろうか」と奮起している姿は、我々日本人も見習わなければと実感しました。

ロータリー活動や語学学校で、日本の直面している国際問題(拉致問題や領土問題)について話してみると、「知らなかった」と答えた方が大半でした。国レベルでは色々やり取りが行われていますが、一般の人たちにはまだまだ知られていないことが多いです。国際親善奨学金プログラムも含め、留学というのは、相手国の一般の方々に日本への理解を深めてもらえる、いいきっかけになるのだなと感じております。

このような素晴らしい経験をさせてくださったロータリー財団の皆様には心より感謝しております。本当にありがとうございました。

## 『アメリカ文化研修を終えて』

09-10 年度 田中 栄子

(札幌南 RC:アメリカ:文化研修6ヶ月)



札幌南ロータリークラブのご推薦をいただきまして、昨年3月末より米国ペンシルバニア州フィラデルフィアに6ヶ月間派遣させて頂きました。

本日は、私が見てきたフィラデルフィアの様子や、体験を通して感じてきたアメリカの文化や歴史・社会、またフィラデルフィアで出会った人々とのエピソードなどを中心に、ご報告させていただきます。

フィラデルフィア市は、アメリカ東海岸のニューヨークとワシントン DC のほぼ中間地点に位置した人口約150万人、周辺を含む都市圏人口は575万人に及ぶ北米有数のグローバル都市です。また、1776年には独立宣言が採択され、自由の鐘リパティベルが高らかに打ち鳴らされた合衆国誕生の地として有名です。

半年間の滞在では、語学学校での英語研修に加え、友人と訪れた多くの美術館やコンサート、週末を利用してのワシントン DC、ニューヨーク、バルティモア、ニュージャージー、カナダなどへの小旅行、また

5月末の戦没将兵追悼記念日(メモリアル・デー)や7月4日のアメリカ独立記念日など、大変貴重な体験をさせていただきました。

また、短い旅行とは違いアメリカの抱える社会問題の片鱗や、人々の暮らしなどについても垣間見ることができました。日本を上回る高い失業率や離婚率、また格差社会や人種差別、多様化する家族の形態などを通して様々なことを考えさせられました。

今回の研修での一番の成果は世界各国に沢山の友人が増えたことではないかと考えています。言葉や文化・習慣・年代を超えて多くのかけがえのない友人を作ることが出来たことは、私にとって本当に大きな喜びでした。お世話になったホストファミリー、日本文化や日本語に興味を抱いている若者たち、ホームステイ先で寝食を共にした各国のルームメイト達との出会いは、今後の私の人生をより豊かにしてくれるものと思います。今後も、こうした世界各国の人達との異文化交流を続けていきたいと願っております。

滞在中には、カウンセラーのシンシア・リーマンさんを始め、現地のロータリアンの皆様にも大変お世話になりました。改めまして、このような素晴らしい機会を与えていただきましたこと、幌南ロータリークラブの皆様を始め、2510 地区ロータリアンの皆様、国際親善奨学委員会の皆様、そして学友会の皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 財団学友総会・懇親会風景



## 【学友会設立 10 周年記念式典に向けて】

「国際ロータリー第 2510 地区 財団学友会」は、奨学金プログラム並びに GSE プログラムに参加し、帰国した元奨学生・元 GSE 団員が集い、2001 年 5 月に発足し、設立 10 周年を迎えました。現在、2012 年 2 月 11 日に開催される「財団学友会設立 10 周年記念式典・祝賀会」(会場: センチュリーロイヤルホテル) に向け準備を進めております。一人でも多くの学友・ロータリアンのみなさまにご参加いただき、学友会 10 周年を祝い、そして新たな門出となるよう準備してまいります。今後とも、みなさまのご協力・ご支援をお願い致します。

○●○ニューズレター編集委員会○●○  
副会長 菅原桂子 幹事 上野智恵美